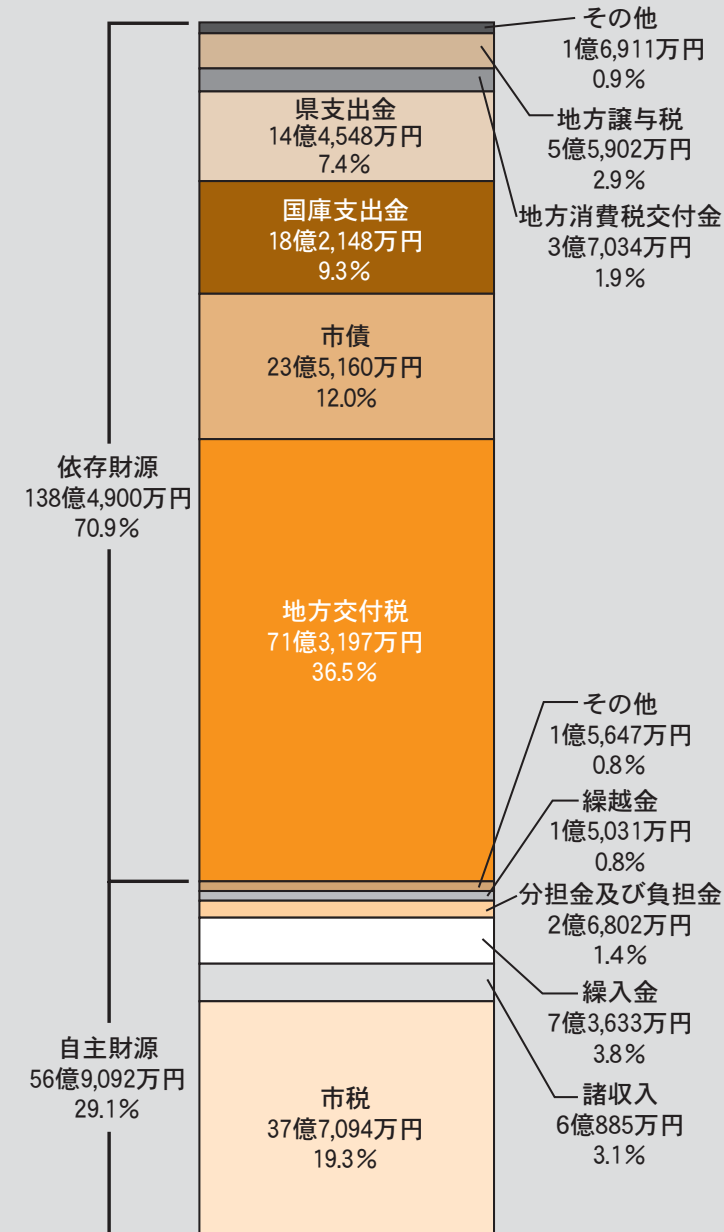


一般会計

一般会計とは、市が行う基本的な仕事にかかる経費を網羅した会計です。市の会計のうち、最も基本的な会計です。18年度の一般会計の歳入は195億3,992万円、歳出は192億3,944万円です。3億48万円の黒字決算となりました。歳出は、目的別と性質別に分けてお知らせします。

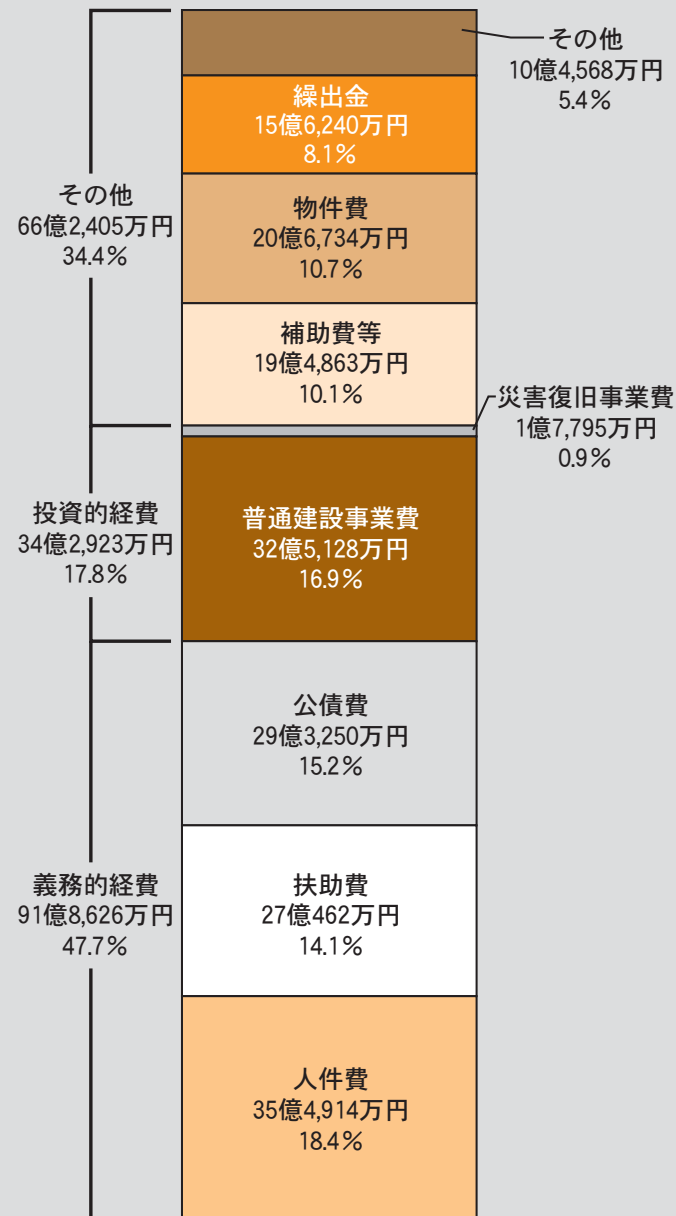
歳入



自主財源は29.1%

歳入では、市税や諸収入などの自主財源が56億9,092万円、地方交付税や市債などの依存財源が138億4,900万円です。市の財源には、市税など自分たちで収入を得る「自主財源」と、地方交付税などのように国や県が決定する「依存財源」の2種類があります。自主財源が多いほど、自主性が高いまちづくりができます。本市の財源に占める自主財源の割合は29.1%でした。

歳出(性質別)

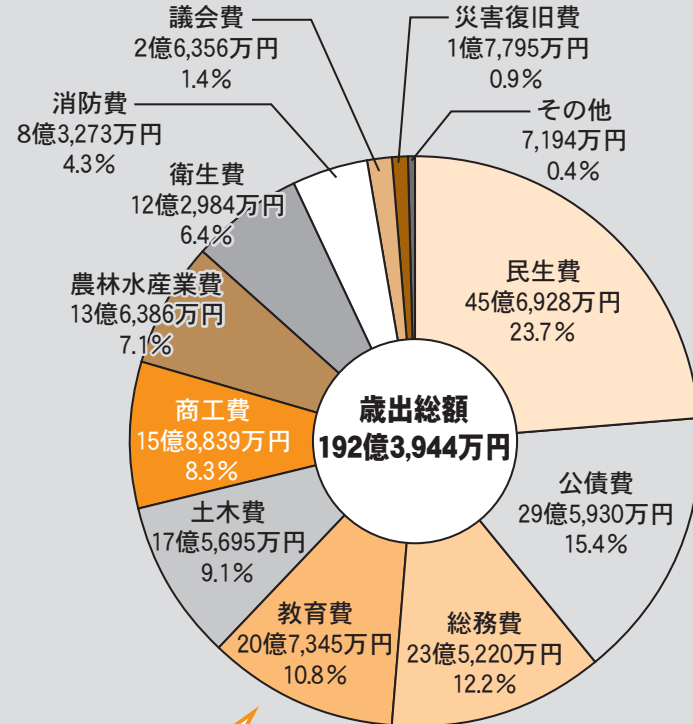


義務的経費が47.7% 人件費は減少傾向

歳出では、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が47.7%を占めています。義務的経費とは、市で働く職員の人件費や国などからの借金返済額を表す公債費、児童や高齢者などを支援するための扶助費などのことです。

人件費は職員数を減らすなどして減少してきていますが、扶助費、公債費は依然として高い傾向にあります。

歳出(目的別)



主な仕事をお知らせします

- 民生費：高齢者、乳幼児に関する福祉など
- 公債費：市が国などから借りるお金に関すること
- 総務費：自治振興や戸籍、広報など
- 教育費：小中学校や生涯学習など
- 土木費：道路建設や都市計画など
- 商工費：商工業の振興
- 農林水産業費：農林水産業の振興
- 衛生費：ごみ処理など
- 消防費：消防、救急など
- 議会費：市議会の運営
- 災害復旧費：自然災害による被害の復旧

歳出で17年度に比べ4億円減

平成17年度の旧久慈市、旧山形村の決算（平成17年4月1日～平成18年3月5日まで）と、新久慈市の決算（平成18年3月6日～3月31日まで）の額を合わせたものとを比較してみます。

【歳入】
17年度は199億2,909万円でした。18年度は、これに比べて3億8,910万円少なくなりました。これは、国からの地方交付税が減ったことなどによるものです。

【歳出】
17年度の歳出は196億5,853万円でした。18年度は、これに比べて4億1,909万円少なくなりました。これは、合併や事務の見直しを進めたことなどによるものです。

黒字は
3億48万円

一般会計は

歳入 195億3,992万円

歳出 192億3,944万円